

令和元年度千葉市環境審議会環境総合施策部会
第1回環境教育等推進専門委員会開催概要及び意見について

1 開催概要

- (1) 日 時 令和2年1月23日(木) 15時00分～16時05分
- (2) 場 所 千葉市総合保健医療センター 4階 研修室
- (3) 出席者 委員長、副委員長、委員2名 計4名

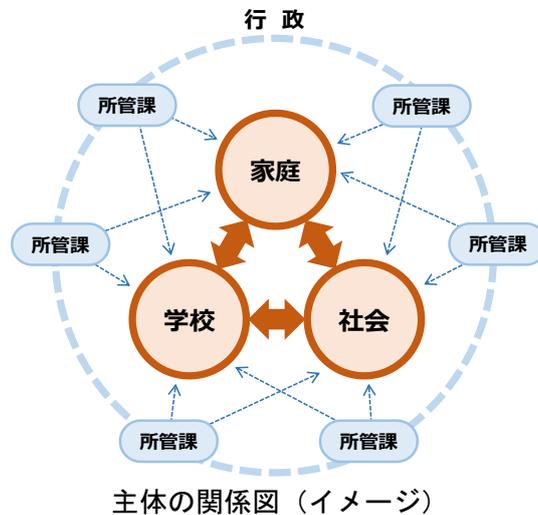
2 委員からの意見（枠内が委員からの意見）

(1) 主体について

- ①骨子案では主体を学校・行政・地域と設定しているが、環境教育の対象が学校教育の場だと誤解される恐れがある。子どもだけでなく親世代も重要な対象であるため、表現を工夫すべき。
- ②主体「行政」の中において、市の各部局の連携推進があるとよい。

(対応)

- ①：主体を「家庭」、「学校等」、「社会（地域、NPO等、事業者）」、「行政」とする。表現を「家庭」とすることで、子どもだけでなく親世代も対象であることを表現する。
- ②：主体「行政」の役割において、市の各部局の連携を推進することを明記する。主体の関係図においても庁内での連携を強調する形で表現する。



(2) 基本方針全体の表現について

- ①一般市民にも伝わるように、表現をわかりやすくすべき。

(対応)

- ①：次期基本方針の構成において、取り組んでいく施策について、主体ごとに整理することで、伝わりやすいものを目指す。また、記載する文章・表現についてもわかりやすいものとなるように心がける。

(3) SDGsと目標の関係について

- ①SDGsのどのゴールを市の環境教育として打ち出したいのかを明確に、もしくは濃淡をつけて明らかにすべき。
- ②SDGsのゴールの一つに「パートナーシップ」があるため、そこをうまくターゲット・ゴールの一つにできればよい。

(対応)

- ①:新基本方針とSDGsの関係について説明する項目をつくり、SDGsの4.7、12.8、17.17を全施策に共通する主なターゲットとし、その他のゴールについても各施策において関連付けて、達成に向けて推進していく旨を記載する。
- ②:上記のように基本理念の中において、「パートナーシップ」を主に取り組んでいくターゲットとする。

(4) 現行の基本方針と次期基本方針の関係について

- ①現行の基本方針と次期基本方針の関係性(現行の基本方針は何が課題で、どこをどう整理したのか)は明確にしておくべき。

(対応)

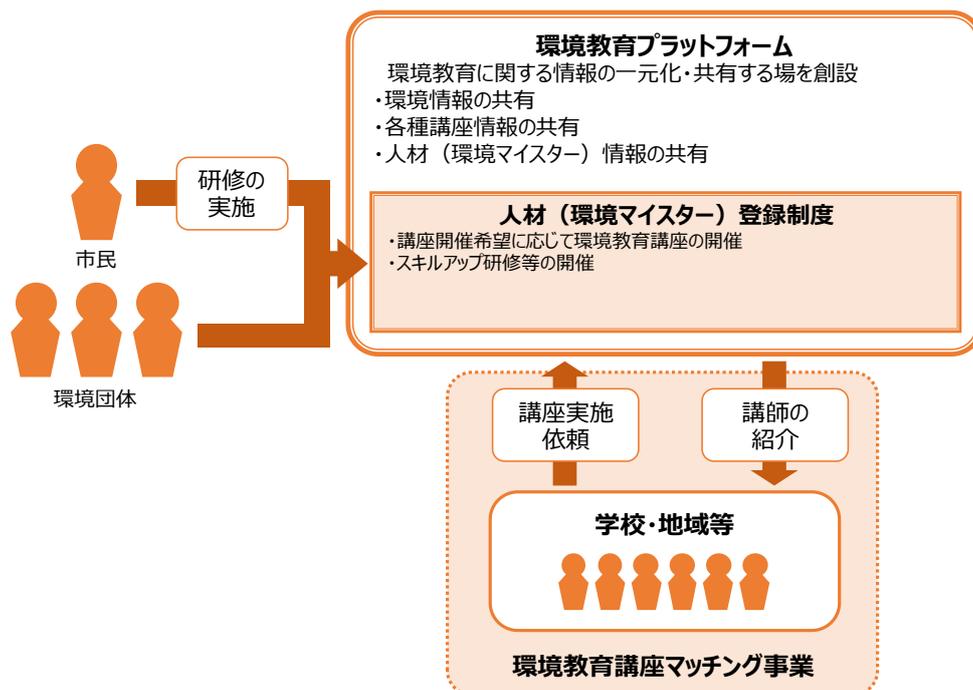
- ①:現行の基本方針と次期基本方針の関係性について整理した資料を作成する。

(5) 人材登録制度(マイスター制度)について

- ①モデル校・講習会・勉強会をやって、それを受けた人がマイスターのような称号をもらって、若い世代を引っ張っていくようなシステムができるとよい。

(対応)

- ①:講習を受けた一般市民や活動団体を登録し、要望に応じて紹介・派遣する制度を、市が取り組んでいく施策の一つとして位置付ける。



制度のイメージ